

特集

社会は変わる、変えられる！

♣ 扉	はじまりは、 同じ人間として	仁茂田芳枝 1
♥	まなぶということ	鈴木孝雄 2
♠	詩 Winning Road (平和の火リレーのテーマ)	宮沢英明 4



社会を変える力をつくる 川村訓史 6

イラン・イスラム共和国の行方 高橋和夫 10

新自由主義はもつたくさんだ！
〜中南米にひろがる抵抗、たたかい 富山栄子 14

女性たちの生存権・労働権をめぐるたたかい 山田(樋浦)敬子 18

独裁と民主化をくり返す韓国社会の変化からまなぶ 韓興鉄 22

憲法を手がかりに、これからの民主主義を考える 石川裕一郎 26

資本主義の歴史から学ぶ未来への洞察 東一 31

『社会変革の歩みとはたらく者がめざす社会』を学習して

思い込みや願望ではなく社会発展の動きをとらえる 稲田誠一 35

被支配階級は敗北したが、次の社会を準備した 宮丸龍雄 36

労働者運動の中にしかこの社会を変える力はない 秋葉弥生子 38

職場の法律相談 メンタル不調で休んでいます 小竹広子 52

憲法 13 信教の自由と国の介入 北川鑑一 55

誌上学習会『イギリスにおける労働者階級の状態』
序 説(その3) 59

◆ キャラバンサライ	40	◆ 働く現場から	50・51
◆ スポーツ時評	42	◆ 北から南から	63
◆ メルボルン便り	44	◆ センターと	68
◆ 経済を知ろう！	46	◆ みなさんをつなぐ	68
◆ 中国観看	48		

カット＝野崎安希子

まなぶということ

歴史を動かす変革の力は
どこから生まれるか

鈴木 孝雄

安倍元首相銃撃事件が起き、政治的テロかと思われたが、山上容疑者は旧統一教会に家庭も人生も無茶苦茶にされ、その広報マンだった安倍氏をねらったものだった。統一教会は、霊感商法で悪名高き存在となり、それを覆い隠すために政治家の力を借りてさらなる反社会的活動をつづけてきた。

教団の聖書を示し、「これいくらだと思いますか」という弁護士に問いに、高くても2〜3万円かなと思ったところ、3千万円だという。とても想像もできない。この常識外れの商品を購入するには、それなりの訳がある。貢物をすれば救われる、しなければサタンが忍び寄る、という恐怖。新興宗教が広がる背景に不安な現代社会がある。だが、そう簡単に不安が消えてなくなるものではない。

だとすると、問題はこの不安を乗り越える正しい道はなにか。神を信ずる、と

いうことも精神の安定を得るために必要なのかも知れないが、信仰という行為だけで社会は変わらない。私たちは、不安を生み出す根本原因を探り、正しい解決方法を身につけねばならない。

人間が空を飛びたいと思っても、信仰によって空を飛べる訳ではない。どうしたら飛べるのか、という理論とそれを実現する科学技術の進歩があった。私たちは、矛盾した社会の変革を果たすには、社会の発展法則を知らねばならない。『まなぶ』はそれに一步步近づいていくのである。

社会を支える労働者は貧しく、働かず人に指図する人がのさばっている。この社会を変えるには働くものが無知であってはならない。労働者がもっているもの、それは社会を支えている「労働力」である。一斉に労働力の提供を停止したら社会は瞬時に止まる。それを実現する力は、憲法も保障する団結だ。そして、基本的人権を実現するには平和でなければならぬ。平和に生きる権利行使するには、主権を権力者に渡してはならないのだ。憲法改悪は、子どもたちの未来をも奪う。

(労働大学まなぶ友の会全国連絡会議議長)